

岡山県内の中小企業（製造業）における景況状況について

（公財）岡山県産業振興財団では、岡山県からの委託により、県内の中小企業（製造業）における景況状況について、アンケート調査を行いましたので、調査結果の概要をお知らせします。

記

- 1 調査対象 岡山県内の中小企業780社に対して調査を行った。
- 2 調査方法 調査票によるアンケート方式
- 3 調査時点 平成25年2月1日（金）
- 4 回収企業 316企業（40.5%）
- 5 集計結果の概要

（1）稼働状況

稼働状況について、稼働率80%以上の企業が前回より2.6ポイント増の68.7%となっており、前回より増加している。

（2）景況判断

岡山県内企業の景況について、各設問のDI（前年同月比で「良い」と答えた企業から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値）を見てみると、「売上高（生産高）」は、前回と変わらず-39.2ポイントとなっている。「受注量」は、前回より3.2ポイント減の-38.8ポイントとなっている。また、「受注単価」については、前回より8.1ポイント増の-28.2ポイントとなっている。「資金繰り」については、前回より2.6ポイント減の-20.9ポイントとなっている。「収益性」は前回より3.0ポイント減で-32.3ポイントとなっている。「雇用状況」は、前回より3.7ポイント増の-7.0ポイントとなっている。「設備投資」に関しては、前回より9.0ポイント増の-33.9ポイントとなっている。「受注単価」、「雇用状況」と「設備投資」の設問で、DIの上昇がみられる。

（3）今後の見通し

今後の見通しDIとしては、「3ヶ月先の生産見通し」が前回より24.0ポイント増の3.7ポイント。「6ヶ月先の生産見通し」は、前回より32.5ポイント増の12.2ポイントとなっている。どちらの設問においても、DIの上昇がみられる。